

結果の概要

1 人口

- 人口はゆるやかに増加し、109万6,704人（令和2年10月1日現在）
- 増加率は1.3%、調査開始以来最も低い数値となる
- 人口集中地区の人口は100万4,465人、総人口の91.6%を占める

令和2年10月1日現在の仙台市の人口は、109万6,704人で、5年前の前回調査に比べ1万4,545人増加し、大正9年の第1回国勢調査以来増加を続けています。

5年ごとの増加率の推移をみると、昭和30年から増加率は増大を続け、昭和50年には18.4%と最も高くなりました。その後、増加率は縮小を続け、平成22年、平成27年は持ち直したものの、令和2年調査では前回を下回り、調査開始以来最も低い1.3%となりました。（図1、表1）

図1 人口及び人口増加率の推移（組替）－大正9年～令和2年

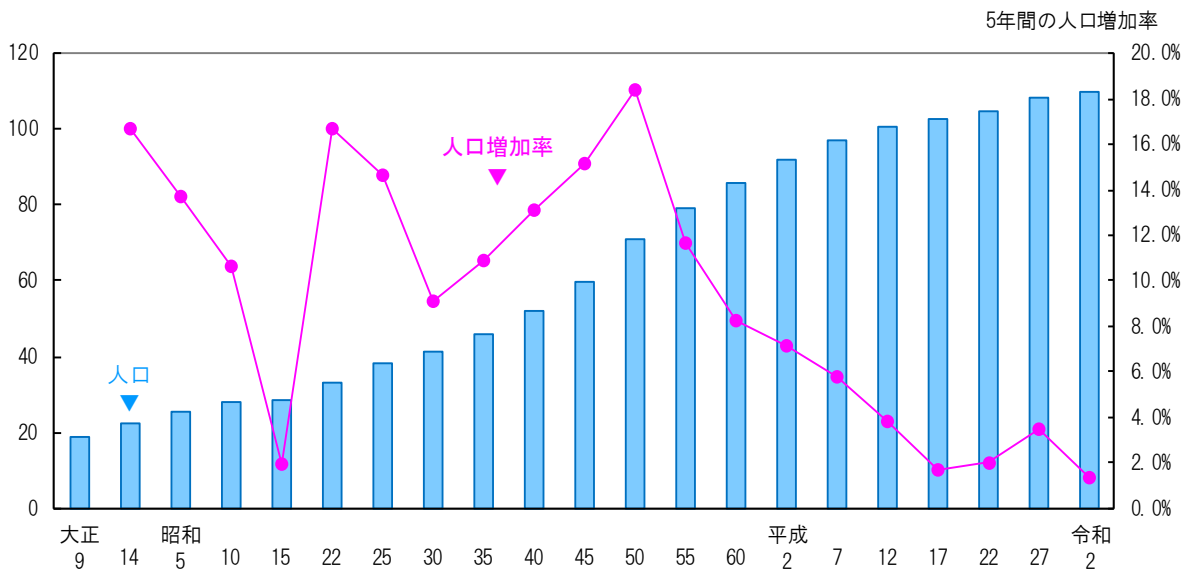


表1 男女別人口の推移－昭和40年～令和2年

年次	人口（人）			5年間の人口増減		性比 (女=100)
	総数	男	女	増減数 (人)	増減率 (%)	
昭和40年	520,059	256,965	263,094	60,183	13.1	97.7
45	598,950	296,898	302,052	78,891	15.2	98.3
50	709,326	351,623	357,703	110,376	18.4	98.3
55	792,036	393,642	398,394	82,710	11.7	98.8
60	857,335	425,984	431,351	65,299	8.2	98.8
平成2年	918,398	454,954	463,444	61,063	7.1	98.2
7	971,297	480,684	490,613	52,899	5.8	98.0
12	1,008,130	496,270	511,860	36,833	3.8	97.0
17	1,025,098	500,597	524,501	16,968	1.7	95.4
22	1,045,986	507,833	538,153	20,888	2.0	94.4
27	1,082,159	527,170	554,989	36,173	3.5	95.0
令和2年	1,096,704	531,617	565,087	14,545	1.3	94.1

実質的な都市地域を表す「人口集中地区」における仙台市の人口は100万4,465人、総人口に占める割合は、前回より1.0ポイント減少し、91.6%となっています。(表2)

表2 人口集中地区人口、面積及び人口密度の推移—昭和50年～令和2年

年次	人 口			面 積			人 口 密 度	
	人口集中地区	市全域	市全域に対する人口集中地区の割合	人口集中地区	市全域	市全域に対する人口集中地区の割合	人口集中地区	市全域
	人	人	%	km ²	km ²	%	人/km ²	人/km ²
昭和50年	581,158	709,326	81.9	76.7	788.09	9.7	7,577.0	900.1
55	648,992	792,036	81.9	86.5	788.03	11.0	7,502.8	1,005.1
60	723,200	857,335	84.4	102.9	788.03	13.1	7,028.2	1,087.9
平成2年	774,143	918,398	84.3	113.3	783.57	14.5	6,832.7	1,172.1
7	844,783	971,297	87.0	123.8	783.50	15.8	6,823.2	1,239.7
12	892,252	1,008,130	88.5	129.69	783.54	16.6	6,879.9	1,286.6
17	905,139	1,025,098	88.3	130.20	783.54	16.6	6,951.9	1,308.3
22	931,677	1,045,986	89.1	134.76	783.54	17.2	6,913.6	1,334.9
27	1,001,882	1,082,159	92.6	149.10	786.30	19.0	6,719.5	1,376.3
令和2年	1,004,465	1,096,704	91.6	150.20	786.35	19.1	6,687.5	1,394.7

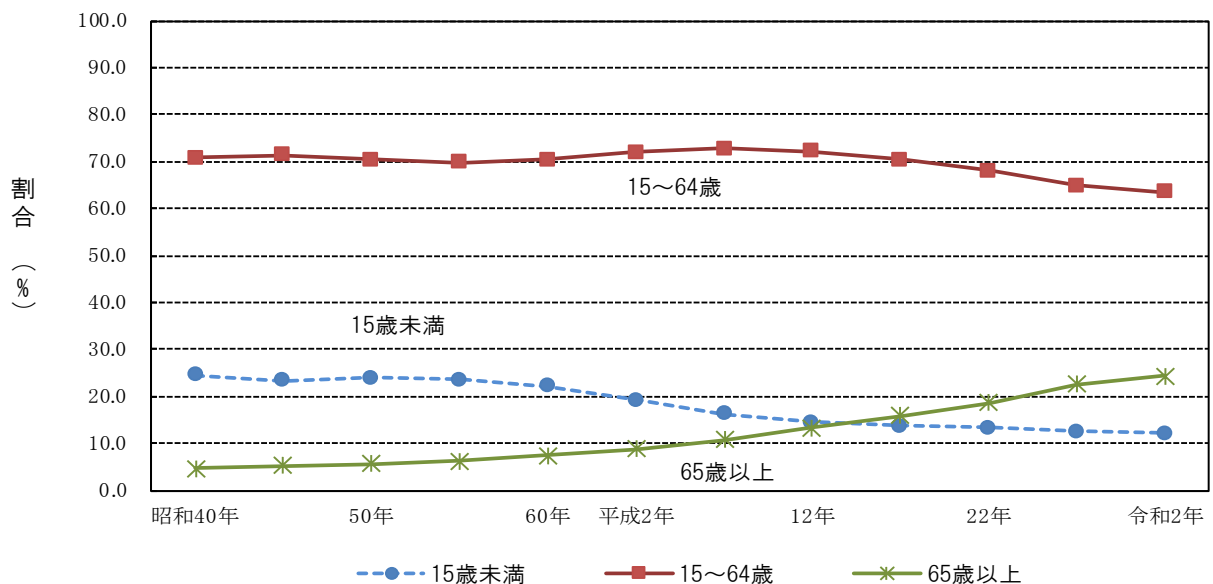
2 年齢別人口

- 65歳以上人口は25万7,223人、高齢化率は24.3%となり「超高齢社会」が進行
- 5歳階級別では、増加数が最も多いのは45～49歳、減少数が最も多いのは60～64歳
- 人口ピラミッドは張り出しが少なくなり、「つぼ型」に近い形

仙台市の総人口を年齢3区分別にみると、15歳未満の年少人口は12万8,665人(年齢不詳を除いた総人口に占める割合12.2%)、15～64歳の生産年齢人口は67万3,081人(同63.6%)、65歳以上の老年人口は25万7,223人(同24.3%)となっています。

年齢不詳を除いた総人口に占める割合を平成27年と比べると、年少人口は0.3ポイントの低下、生産年齢人口は1.4ポイントの低下となった一方、老年人口は1.7ポイント上昇しました。(図2、表3)

図2 年齢(3区分)別人口割合の推移—昭和40年～令和2年



年齢を5歳階級別に前回と比較すると、増加数が一番大きいのが「45～49歳」の1万4,051人、次いで「70～74歳」の1万2,303人となっています。一方、減少数は「60～64歳」の7,924人が一番大きく、次いで「65～69歳」の6,590人となっています。

また、令和2年の「25～29歳」人口と5年前の「20～24歳」人口との比較では、7,084人減少している一方、「20～24歳」人口と5年前の「15～19歳」人口との比較では、9,542人増加しています。進学や就職等での転入や就職での転出が要因の一つと考えられます。(表3)

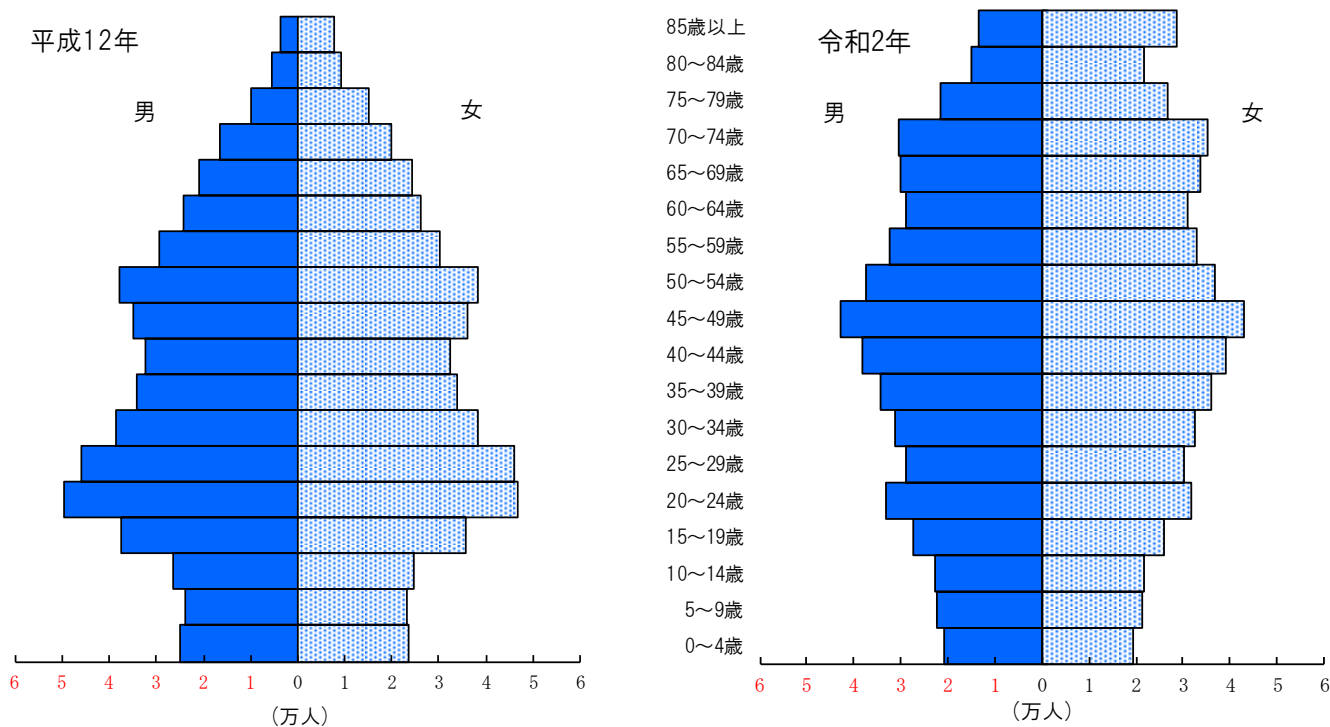
表3 年齢(5歳階級)別人口の推移—平成7年～令和2年

年齢階級	平成7年	12年	17年	22年	27年	令和2年	平成27年～令和2年	
							増減数	増減率(%)
総数	971,297	1,008,130	1,025,098	1,045,986	1,082,159	1,096,704	14,545	1.3
0～4歳	48,412	48,383	46,056	44,566	42,369	40,380	△ 1,989	△ 4.7
5～9	51,576	47,250	47,126	45,240	43,016	43,833	817	1.9
10～14	58,426	51,192	46,869	47,026	43,924	44,452	528	1.2
15～19	81,858	73,140	63,082	56,571	55,128	53,373	△ 1,755	△ 3.2
20～24	104,447	96,130	82,440	71,620	66,127	64,670	△ 1,457	△ 2.2
25～29	77,541	91,860	80,174	71,147	63,647	59,043	△ 4,604	△ 7.2
30～34	69,074	76,745	87,471	77,370	66,259	63,865	△ 2,394	△ 3.6
35～39	64,540	67,886	74,677	85,610	73,375	69,959	△ 3,416	△ 4.7
40～44	71,452	64,875	66,666	73,918	82,644	77,017	△ 5,627	△ 6.8
45～49	77,789	71,049	63,354	65,955	71,928	85,979	14,051	19.5
50～54	61,317	75,937	69,145	62,124	65,551	73,970	8,419	12.8
55～59	51,820	59,663	73,581	67,445	62,245	65,160	2,915	4.7
60～64	47,008	50,498	57,724	71,619	67,969	60,045	△ 7,924	△ 11.7
65～69	39,268	45,287	48,626	55,699	70,537	63,947	△ 6,590	△ 9.3
70～74	28,096	36,559	42,647	45,962	53,523	65,826	12,303	23.0
75～79	18,109	25,203	33,252	38,671	43,638	48,512	4,874	11.2
80～84	11,642	14,575	21,060	27,905	34,912	36,707	1,795	5.1
85～89	5,643	7,908	10,503	15,609	20,611	25,845	5,234	25.4
90～94	1,644	2,895	4,457	5,974	8,694	12,529	3,835	44.1
95～99	284	542	1,115	1,647	2,114	3,359	1,245	58.9
100歳以上	25	51	135	255	331	498	167	50.5
年齢不詳	1,326	502	4,938	14,053	43,617	37,735	-	-
(再掲)								
15歳未満	158,414	146,825	140,051	136,832	129,309	128,665	△ 644	△ 0.5
15～64歳	706,846	727,783	718,314	703,379	674,873	673,081	△ 1,792	△ 0.3
65歳以上	104,711	133,020	161,795	191,722	234,360	257,223	22,863	9.8
65～74歳	67,364	81,846	91,237	101,661	124,060	129,773	5,713	4.6
75歳以上	37,347	51,174	70,522	90,061	110,300	127,450	17,150	15.5
年齢別割合(%)								
15歳未満	16.3	14.6	13.7	13.3	12.5	12.2	-	-
15～64歳	72.9	72.2	70.4	68.2	65.0	63.6	-	-
65歳以上	10.8	13.2	15.9	18.6	22.6	24.3	-	-
65～74歳	6.9	8.1	8.9	9.9	11.9	12.3	-	-
75歳以上	3.9	5.1	6.9	8.7	10.6	12.0	-	-

*年齢別割合は年齢不詳を除いて算出している。

令和2年の人口ピラミッドを20年前（平成12年）のものと比較すると、全体的には張り出しが少なくなり、また、ピラミッドの頂点がより平たくなっています。年齢層の間で人口の差が小さく、15歳未満人口も少なくなり、「つぼ型」に近い形を示しています。（図3）

図3 人口ピラミッド



3 配偶関係別人口

- 未婚の割合は男性が高く、死別・離別の割合は女性が高い
- 「有配偶」が「未婚」を上回るのは、男女とも30~34歳以上の年齢階級
- 5歳階級別の未婚率は、20~44歳の男性と25~39歳の女性で前回を下回る

令和2年の15歳以上人口93万304人（男性44万5,201人、女性48万5,103人）を配偶関係別にみると、男性は「未婚」が13万9,981人（15歳以上男性の33.4%）、「有配偶」が25万3,075人（同60.3%）、「死別」が1万910人（同2.6%）、「離別」が1万5,606人（同3.7%）となっています。一方、女性は「未婚」が12万8,241人（15歳以上女性の27.6%）、「有配偶」が25万3,982人（同54.7%）、「死別」が5万2,216人（同11.2%）、「離別」が2万9,823人（同6.4%）となっています。

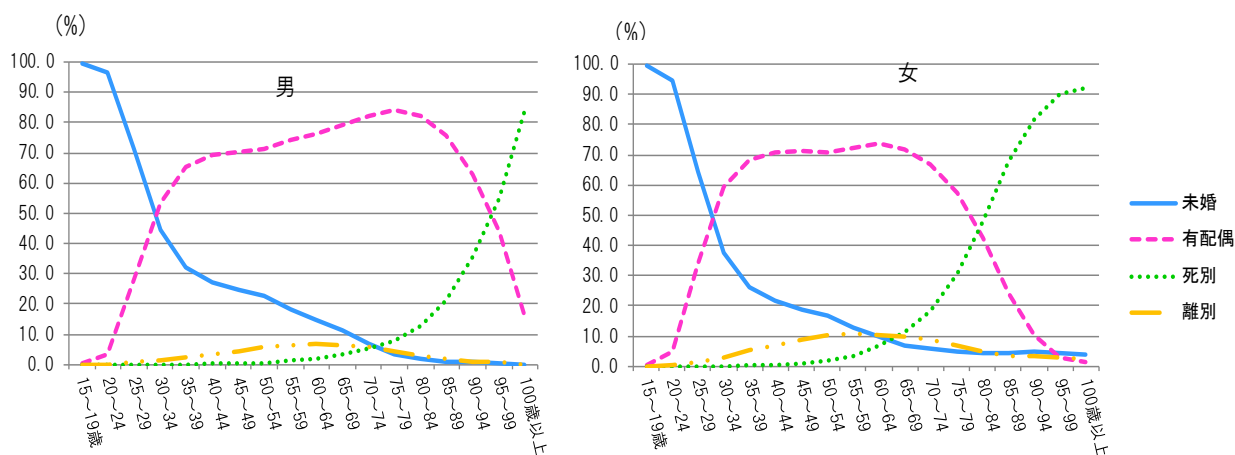
また、「有配偶」の割合が「未婚」を上回るのは男女とも30~34歳以上の年齢階級となっています。（表4、図4）

表 4 配偶関係別 15 歳以上人口

年齢階級	男						女						
	総数	未婚	有配偶	死別	離別	不詳	総数	未婚	有配偶	死別	離別	不詳	
	実 数 (人)												
総 数	445,201	139,981	253,075	10,910	15,606	25,629	485,103	128,241	253,982	52,216	29,823	20,841	
15～19歳	27,229	26,821	68	-	9	331	26,144	25,783	91	2	5	263	
20～24	32,984	28,610	1,033	4	34	3,303	31,686	27,613	1,484	7	79	2,503	
25～29	28,963	17,874	7,031	1	168	3,889	30,080	17,590	9,380	11	389	2,710	
30～34	31,369	12,772	15,349	13	456	2,779	32,496	11,555	18,157	28	925	1,831	
35～39	34,133	10,190	20,672	18	825	2,428	35,826	9,042	23,377	88	1,778	1,541	
40～44	38,105	9,646	24,806	63	1,282	2,308	38,912	8,154	26,590	189	2,537	1,442	
45～49	42,873	10,049	28,348	123	1,824	2,529	43,106	7,876	29,562	373	3,724	1,571	
50～54	37,331	7,969	25,164	214	2,028	1,956	36,639	5,955	25,037	691	3,712	1,244	
55～59	32,333	5,617	22,984	351	1,918	1,463	32,827	4,160	23,137	1,137	3,519	874	
60～64	29,078	4,074	21,380	588	1,914	1,122	30,967	2,898	22,241	2,002	3,075	751	
65～69	30,140	3,233	23,040	991	1,856	1,020	33,807	2,338	23,730	3,776	3,218	745	
70～74	30,509	1,994	24,329	1,554	1,749	883	35,317	2,021	22,953	6,291	3,110	942	
75～79	21,713	705	17,792	1,669	932	615	26,799	1,185	14,797	7,900	1,811	1,106	
80～84	14,933	298	11,934	1,836	426	439	21,774	895	8,750	9,907	1,033	1,189	
85～89	9,184	100	6,709	1,865	152	358	16,661	652	3,771	10,482	558	1,198	
90～94	3,604	27	2,156	1,229	28	164	8,925	394	848	6,709	273	701	
95～99	651	2	269	335	5	40	2,708	115	71	2,257	67	198	
100歳以上	69	-	11	56	-	2	429	15	6	366	10	32	
	構 成 比 (%)												
総 数	100.0	33.4	60.3	2.6	3.7	-	100.0	27.6	54.7	11.2	6.4	-	
15～19歳	100.0	99.7	0.3	0.0	0.0	-	100.0	99.6	0.4	0.0	0.0	-	
20～24	100.0	96.4	3.5	0.0	0.1	-	100.0	94.6	5.1	0.0	0.3	-	
25～29	100.0	71.3	28.0	0.0	0.7	-	100.0	64.3	34.3	0.0	1.4	-	
30～34	100.0	44.7	53.7	0.0	1.6	-	100.0	37.7	59.2	0.1	3.0	-	
35～39	100.0	32.1	65.2	0.1	2.6	-	100.0	26.4	68.2	0.3	5.2	-	
40～44	100.0	26.9	69.3	0.2	3.6	-	100.0	21.8	71.0	0.5	6.8	-	
45～49	100.0	24.9	70.3	0.3	4.5	-	100.0	19.0	71.2	0.9	9.0	-	
50～54	100.0	22.5	71.1	0.6	5.7	-	100.0	16.8	70.7	2.0	10.5	-	
55～59	100.0	18.2	74.5	1.1	6.2	-	100.0	13.0	72.4	3.6	11.0	-	
60～64	100.0	14.6	76.5	2.1	6.8	-	100.0	9.6	73.6	6.6	10.2	-	
65～69	100.0	11.1	79.1	3.4	6.4	-	100.0	7.1	71.8	11.4	9.7	-	
70～74	100.0	6.7	82.1	5.2	5.9	-	100.0	5.9	66.8	18.3	9.0	-	
75～79	100.0	3.3	84.3	7.9	4.4	-	100.0	4.6	57.6	30.7	7.0	-	
80～84	100.0	2.1	82.3	12.7	2.9	-	100.0	4.3	42.5	48.1	5.0	-	
85～89	100.0	1.1	76.0	21.1	1.7	-	100.0	4.2	24.4	67.8	3.6	-	
90～94	100.0	0.8	62.7	35.7	0.8	-	100.0	4.8	10.3	81.6	3.3	-	
95～99	100.0	0.3	44.0	54.8	0.8	-	100.0	4.6	2.8	89.9	2.7	-	
100歳以上	100.0	0.0	16.4	83.6	0.0	-	100.0	3.8	1.5	92.2	2.5	-	
平成27年構成比(%)	総 数	100.0	34.1	59.4	2.7	3.8	-	100.0	28.3	54.2	11.7	6.2	-

*構成比は配偶関係「不詳」を除いて算出している。

図 4 配偶関係, 年齢 (5 歳階級), 男女別 15 歳以上人口の割合



20歳～49歳までの年齢階級別に未婚率の推移をみると、20～44歳の男性及び25～39歳の女性では前回は下回っています。(表5, 図5)

図5 年齢階級（20～49歳）別未婚率の推移—平成12年～令和2年

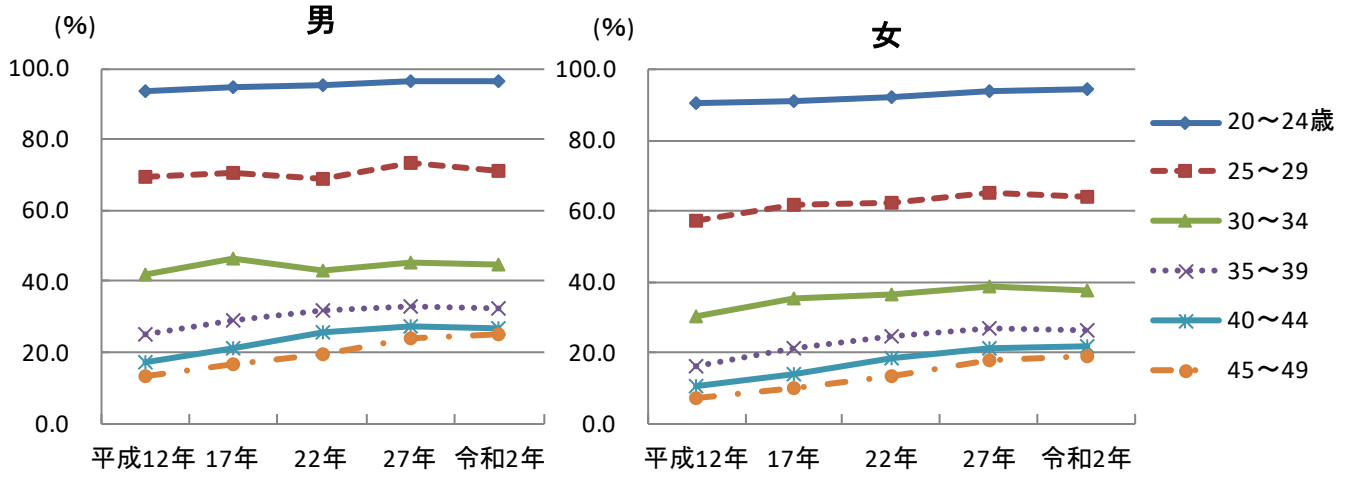


表5 年齢階級（20～49歳）別未婚率の推移—平成12年～令和2年

(単位：%)

年齢階級	男					女				
	平成12年	17年	22年	27年	令和2年	平成12年	17年	22年	27年	令和2年
20～24歳	93.8	94.7	95.2	96.5	96.4	90.4	91.3	92.1	94.2	94.6
25～29	69.2	70.4	68.7	73.1	71.3	57.0	61.9	62.3	65.4	64.3
30～34	42.0	46.2	42.7	45.1	44.7	30.0	35.4	36.5	38.5	37.7
35～39	25.0	29.1	31.8	33.1	32.1	16.2	21.0	24.5	26.6	26.4
40～44	17.3	20.9	25.4	27.5	26.9	10.7	13.8	18.6	21.2	21.8
45～49	13.2	16.3	19.6	23.8	24.9	7.4	10.0	13.6	17.8	19.0

4 外国人人口

- ▶ 外国人人口は1万1,507人で、仙台市の総人口の1.1%
- ▶ 国籍では、「中国」が最も多く、外国人人口の30.7%を占める

仙台市に在住する外国人人口は1万1,507人で、平成27年と比べて29.3%増加しました。仙台市の総人口に占める割合（日本人・外国人の別「不詳」を除く）は1.1%となっています。

国籍別にみると、「中国」が最も多く3,534人（外国人人口の30.7%）、次いで「韓国、朝鮮」が1,797人（同15.6%）などとなっています。「ベトナム」は前回の712人から1,650人（同14.3%）と大幅に増加した他、令和2年調査から調査対象となった「ネパール」も1,389人（同12.1%）となりました。（表6、図6）

図6 国籍別外国人人口の割合—令和2年

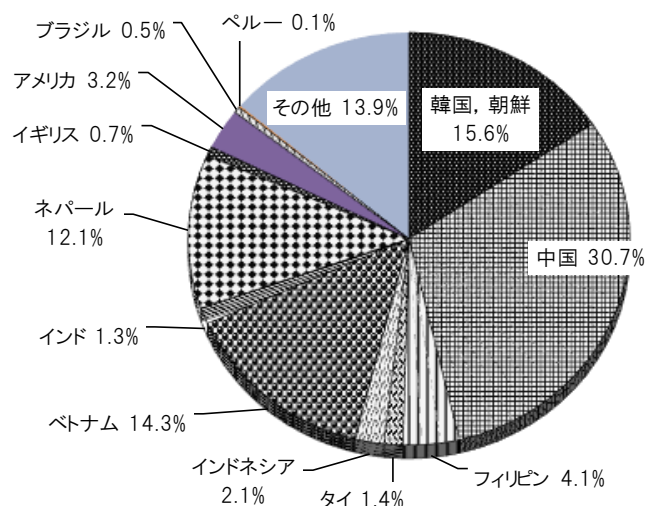


表6 国籍別外国人人口の推移—平成27年・令和2年

国籍	実数(人)		増減数 (人)	増減率 (%)	割合(%)	
	平成27年	令和2年			平成22年	平成27年
総数	8,898 (0.8%)	11,507 (1.1%)	2,609	29.3	100.0	100.0
韓国, 朝鮮	1,830	1,797	△ 33	△ 1.8	20.6	15.6
中国	3,100	3,534	434	14.0	34.8	30.7
フィリピン	354	472	118	33.3	4.0	4.1
タイ	129	159	30	23.3	1.4	1.4
インドネシア	192	245	53	27.6	2.2	2.1
ベトナム	712	1,650	938	131.7	8.0	14.3
インド	87	147	60	69.0	1.0	1.3
ネパール	-	1,389	-	-	-	12.1
イギリス	72	82	10	13.9	0.8	0.7
アメリカ	382	365	△ 17	△ 4.5	4.3	3.2
ブラジル	61	56	△ 5	△ 8.2	0.7	0.5
ペルー	10	16	6	60.0	0.1	0.1
その他	2,056	1,595	△ 461	△ 22.4	23.1	13.9

*ネパールはH27年調査では「その他」に含まれる。

*「その他」には、無国籍及び国名「不詳」を含む。

5 世帯の状況

(1) 世帯数、世帯規模

- ▶ 世帯数は52万5,455世帯、うち一般世帯は52万4,651世帯
- ▶ 世帯数・世帯人員は一貫して増加、1世帯当たり人員は一貫して減少
- ▶ 世帯人員が1人の世帯が最も多く、世帯人員が多くなるほど世帯数は少ない

令和2年10月1日現在の仙台市の世帯数は52万5,455世帯で、平成27年から2万6,502世帯増加しました。増加率は5.3%となっています。

一般世帯数は52万4,651世帯、一般世帯人員は107万2,237人で、一般世帯の1世帯当たり人員は2.04人となっています。

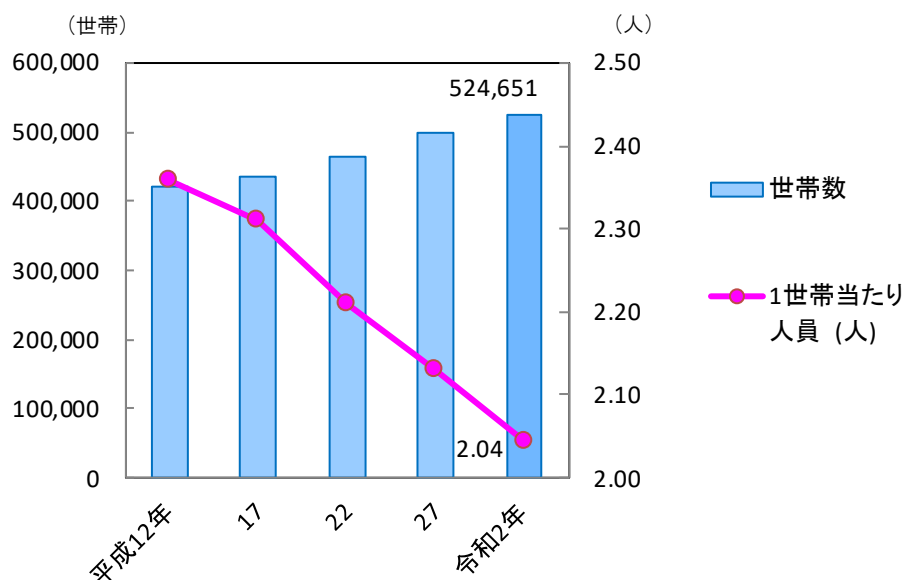
一般世帯について平成12年以降の推移をみると、世帯数及び世帯人員とも一貫して増加している一方、1世帯当たり人員は一貫して減少しています。(表7、図7)

表7 総世帯数、一般世帯数・世帯人員及び施設等の世帯数・世帯人員の推移
—平成12年～令和2年

年次	総数 (世帯)	一般世帯			施設等の世帯		
		世帯数 (世帯)	世帯人員 (人)	1世帯当たり 人員(人)	世帯数 (世帯)	世帯人員 (人)	
実数	平成12年	421,182	420,368	991,664	2.36	446	15,964
	17	439,579	434,539	1,002,678	2.31	567	17,482
	22	465,260	464,640	1,026,693	2.21	620	19,293
	27	498,953	498,257	1,060,769	2.13	696	21,390
	令和2年	525,455	524,651	1,072,237	2.04	804	24,467
増減数	平成12～17年	18,397	14,171	11,014	△0.05	121	1,518
	17～22年	25,681	30,101	24,015	△0.10	53	1,811
	22～27年	33,693	33,617	34,076	△0.08	76	2,097
	平成27～令和2年	26,502	26,394	11,468	△0.09	108	3,077
増減率	平成12～17年	4.4%	3.4%	1.1%	△2.1%	27.1%	9.5%
	17～22年	5.8%	6.9%	2.4%	△4.3%	9.3%	10.4%
	22～27年	7.2%	7.2%	3.3%	△3.7%	12.3%	10.9%
	平成27～令和2年	5.3%	5.3%	1.1%	△4.0%	15.5%	14.4%

*平成12年～17年は、総数に世帯の種類「不詳」を含む。

図7 一般世帯及び一般世帯の1世帯当たり人員の推移—平成12年～令和2年



一般世帯数を世帯人員別にみると、世帯人員が1人の世帯が23万6,238世帯（一般世帯の45.0%）と最も多く、世帯人員が多くなるほど世帯数は少なくなっています。

平成27年と比べると、世帯人員が3人以下の世帯はいずれも増加しており、世帯人員が多くなるほど増加率は低くなっています。一方、4人以上の世帯はいずれも減少し、世帯人員が多くなるほど減少率は高くなっています。（図8、表8）

図8 世帯人員別一般世帯割合の推移—平成22年～令和2年

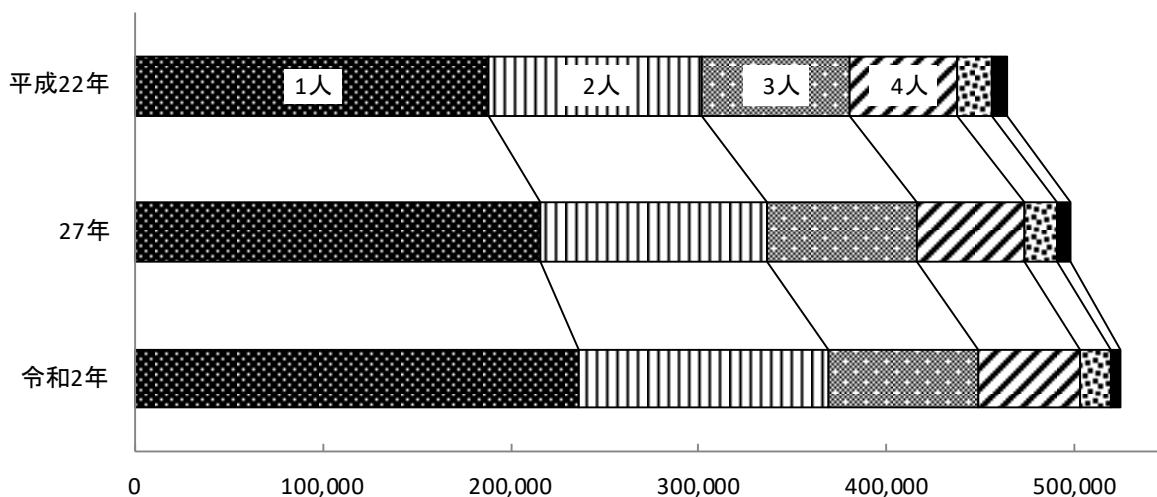


表8 世帯人員別一般世帯数の推移—平成22年～令和2年

区分	一般世帯数（実数：世帯，比率：%）						増減数（世帯）		増減率（%）
	平成22年		27年		令和2年		H22～H27	H27～R2	H27～R2
	実数	比率	実数	比率	実数	比率			
総数	464,640	100.0	498,257	100.0	524,651	100.0	33,617	26,394	5.3
1人	188,567	40.6	215,236	43.2	236,238	45.0	26,669	21,002	9.8
2人	113,546	24.4	121,567	24.4	133,196	25.4	8,021	11,629	9.6
3人	77,807	16.7	79,097	15.9	79,857	15.2	1,290	760	1.0
4人	58,163	12.5	57,354	11.5	54,273	10.3	△ 809	△ 3,081	△ 5.4
5人	17,877	3.8	17,341	3.5	15,545	3.0	△ 536	△ 1,796	△ 10.4
6人以上	8,680	1.9	7,662	1.5	5,542	1.1	△ 1,018	△ 2,120	△ 27.7

(2) 世帯の種類・家族類型(一般世帯)

- 単独世帯は23万6,238世帯で、割合は45.1%に上昇
- 年齢(5歳階級)別人口に占める単独世帯の割合は、20~24歳が最も高い
- 20~69歳は男性の方が年齢別人口に占める単独世帯の割合が高く、70歳以上では女性の方が高い

一般世帯数を世帯の家族類型別にみると、「親族のみの世帯」は28万2,059世帯(世帯の家族類型「不詳」を除いた一般世帯に占める割合53.8%)、「単独世帯」は23万6,238世帯(同45.1%)となっています。

「親族のみの世帯」のうち、「核家族世帯」は25万5,851世帯(同48.8%)で、そのうち最も多いのは「夫婦と子供から成る世帯」で11万9,128世帯(同22.7%)、次いで「夫婦のみの世帯」で9万4,364世帯(同18.0%)などとなっています。(図9、表9)

図9 一般世帯の家族類型別割合の推移—平成22年~令和2年

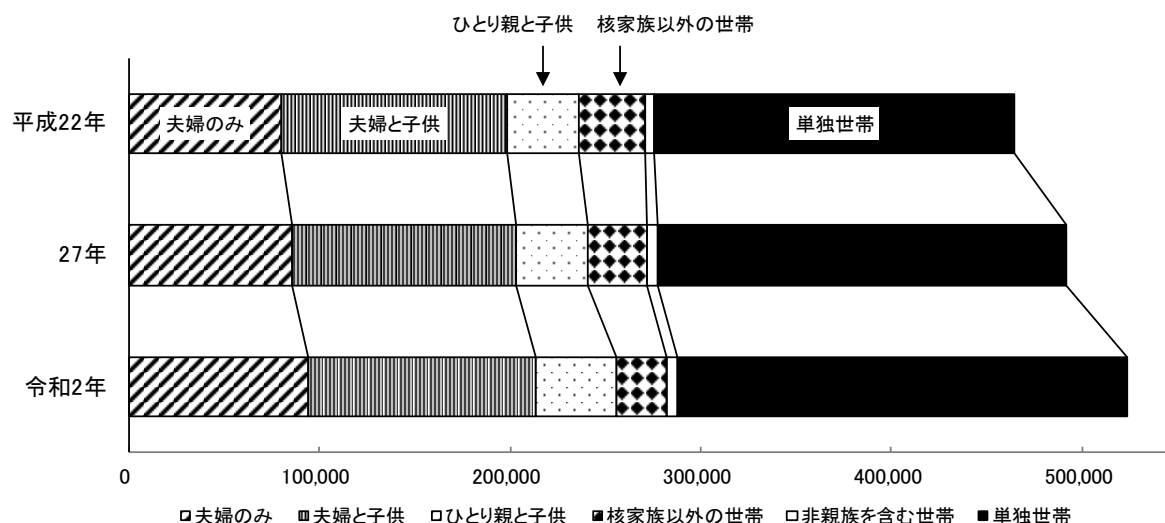


表9 世帯の家族類型別一般世帯数の推移—平成22年~令和2年

家族類型	一般世帯数(世帯)			構成比(%)			増減率(%)	
	平成22年	27年	令和2年	平成22年	27年	令和2年	H22~H27	H27~R2
総数	464,640	498,257	524,651	-	-	-	7.2	5.3
親族のみの世帯	270,448	272,075	282,059	58.2	55.3	53.8	0.6	3.7
核家族世帯	236,107	240,648	255,851	50.8	48.9	48.8	1.9	6.3
夫婦のみ	80,082	85,289	94,364	17.2	17.3	18.0	6.5	10.6
夫婦と子供	118,453	117,964	119,128	25.5	24.0	22.7	△0.4	1.0
男親と子供	4,573	4,723	5,171	1.0	1.0	1.0	3.3	9.5
女親と子供	32,999	32,672	37,188	7.1	6.6	7.1	△1.0	13.8
核家族以外の世帯	34,341	31,427	26,208	7.4	6.4	5.0	△8.5	△16.6
非親族を含む世帯	5,531	4,948	5,524	1.2	1.0	1.1	△10.5	11.6
単独世帯	188,567	215,236	236,238	40.6	43.7	45.1	14.1	9.8

*総数には世帯の家族類型「不詳」を含む。

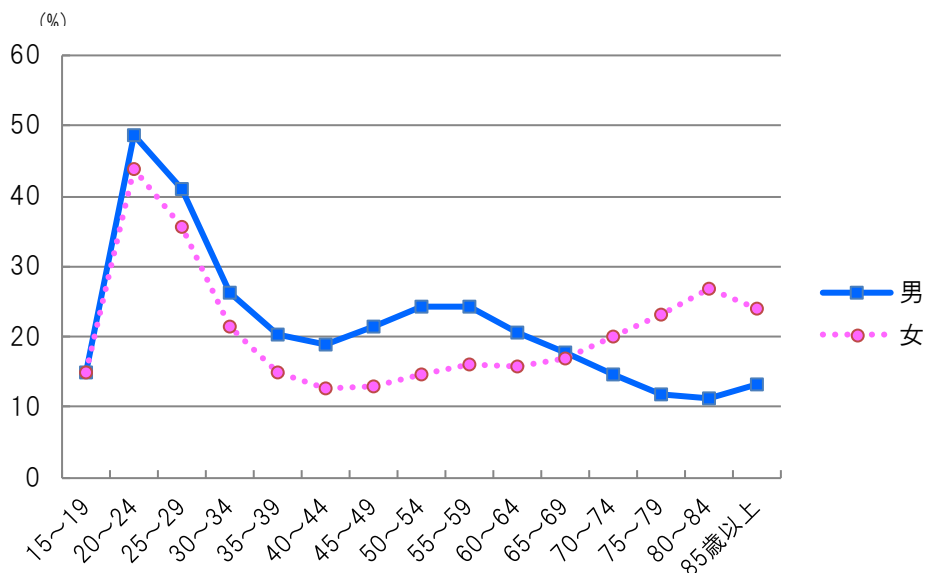
*構成比は世帯の家族類型「不詳」を除いて算出している。

年齢(5歳階級)別人口に占める「単独世帯」の比率をみると、男女とも20～24歳で最も高く、男性で48.8%、女性で43.9%を占めています。また、20歳以上の年齢階級では、65～69歳までの各年齢階級で男性が女性を上回っている一方、70歳以上の階級では女性が男性を上回っています。(図10、表10)

表10 単独世帯の年齢(5歳階級)、男女別世帯人員—平成27年・令和2年

年齢階級	男				女			
	平成27年		令和2年		平成27年		令和2年	
	実数(人)	比率(%)	実数(人)	比率(%)	実数(人)	比率(%)	実数(人)	比率(%)
総数	113,068	21.4	121,497	22.9	102,168	18.4	114,741	20.3
～14歳	4	0.0	1	0.0	-	-	-	-
15～19	4,631	16.3	4,038	14.8	4,301	16.1	3,922	15.0
20～24	16,532	49.0	16,085	48.8	13,722	42.4	13,912	43.9
25～29	12,434	39.3	11,916	41.1	10,266	32.1	10,689	35.5
30～34	7,034	21.9	8,265	26.3	5,904	17.3	6,952	21.4
35～39	6,454	17.8	6,914	20.3	4,709	12.7	5,347	14.9
40～44	7,408	18.0	7,244	19.0	4,529	10.9	4,964	12.8
45～49	7,375	20.4	9,245	21.6	3,989	11.2	5,520	12.8
50～54	7,567	23.0	9,016	24.2	4,007	12.3	5,409	14.8
55～59	6,987	22.9	7,810	24.2	4,580	14.5	5,241	16.0
60～64	6,619	20.2	6,010	20.7	5,647	16.0	4,865	15.7
65～69	5,478	16.3	5,349	17.7	6,400	17.4	5,761	17.0
70～74	3,381	13.5	4,459	14.6	5,824	20.4	7,038	19.9
75～79	2,626	13.8	2,584	11.9	6,586	26.8	6,198	23.1
80～84	2,112	15.2	1,694	11.3	6,612	31.4	5,866	26.9
85歳以上	1,192	12.1	1,781	13.2	4,824	22.0	6,885	24.0

図10 単独世帯の年齢(5歳階級)、男女別世帯人員の割合—令和2年



* 総数には、年齢「不詳」を含む。

* 比率＝男女、年齢5歳階級別一般世帯のうちの単独世帯人員／当該年齢階級の男女別人口

(3) 高齢世帯員のいる世帯(一般世帯)

- ▶ 65歳以上世帯員のいる一般世帯数は、一般世帯の3割以上を占めるが、伸び率は低下
- ▶ 65歳以上の単独世帯、夫婦とも65歳以上の高齢夫婦世帯も増加が続く

65歳以上世帯員のいる一般世帯数は16万4,822世帯で、平成27年に比べて9,759世帯の増加となっています。一般世帯に占める割合は31.4%となり、平成27年の31.1%から上昇が続いていますが、平成22年(27.4%)から平成27年の伸び率と比べると、その伸び率は低下しています。

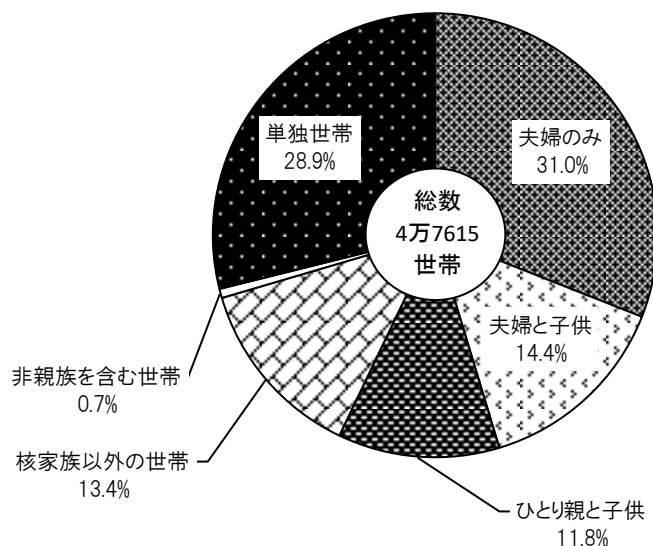
65歳以上世帯員のいる一般世帯数を家族類型別にみると、「夫婦のみの世帯」が5万1,072世帯(65歳以上世帯員のいる一般世帯の31.0%)と最も多く、次いで「単独世帯」が4万7,615世帯(同28.9%)などとなっています。(表11、図11)

表11 世帯の家族類型別65歳以上世帯員のいる一般世帯数の推移
—平成22年～令和2年

家族類型	実数(世帯)			構成比(%)		
	平成22年	27年	令和2年	平成22年	27年	令和2年
65歳以上世帯員のいる一般世帯	127,081	155,063	164,822	100.0 (27.4)	100.0 (31.1)	100.0 (31.4)
親族のみの世帯	95,849	109,043	116,112	75.4	70.3	70.4
核家族世帯	68,690	82,981	94,106	54.1	53.5	57.1
夫婦のみの世帯	37,780	45,016	51,072	29.7	29.0	31.0
夫婦と子供から成る世帯	17,874	21,802	23,654	14.1	14.1	14.4
男親と子供から成る世帯	2,129	2,659	3,085	1.7	1.7	1.9
女親と子供から成る世帯	10,907	13,504	16,295	8.6	8.7	9.9
核家族以外の世帯	27,159	26,062	22,006	21.4	16.8	13.4
非親族を含む世帯	765	985	1,095	0.6	0.6	0.7
単独世帯	30,467	45,035	47,615	24.0	29.0	28.9

*()内の数値は、一般世帯に占める65歳以上世帯員のいる一般世帯の割合

図11 65歳以上世帯員のいる一般世帯の家族類型別割合—令和2年



65歳以上の単独世帯は平成27年と比べて5.7%増加しています。年齢（5歳階級）別にみると、「70～74歳」及び「85歳以上」の年齢階級で男女とも増加しており、特に男性の「85歳以上」の年齢階級では1.5倍近く増加しています。（図12、表12）

また、夫と妻がともに65歳以上の高齢夫婦世帯は4万2,973世帯で、平成27年に比べ6,920世帯（19.2%）の増加となっています。（表13）

図12 年齢別高齢単身者数の推移－平成22年～令和2年

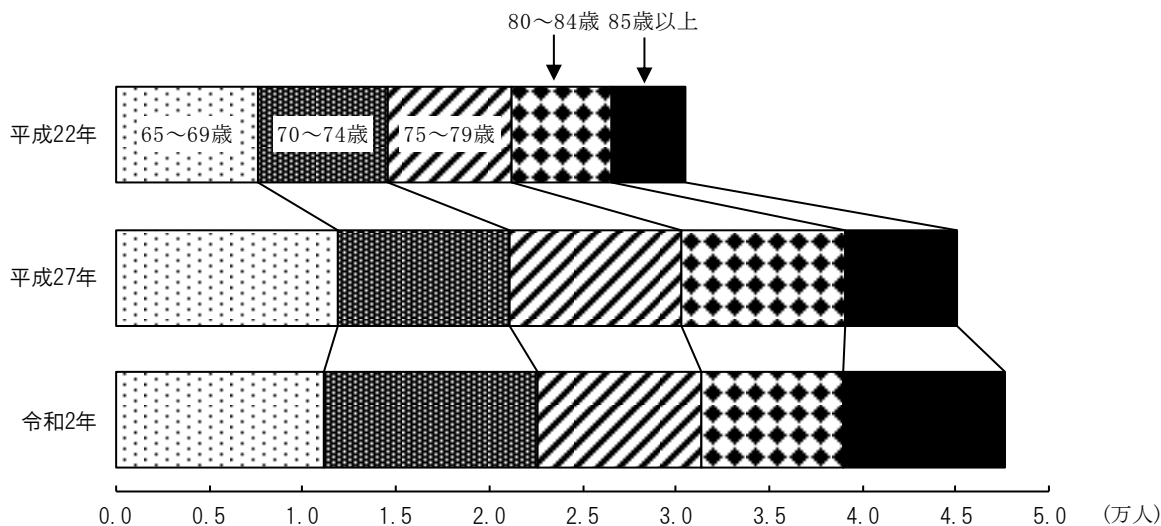


表12 65歳以上の高齢単身者数（男女別）－平成27年・令和2年

(単位：人，%)

年齢別	平成27年			令和2年			増減率		
	総数	男	女	総数	男	女	総数	男	女
総数	45,035	14,789	30,246	47,615	15,867	31,748	5.7	7.3	5.0
65～69歳	11,878	5,478	6,400	11,110	5,349	5,761	△ 6.5	△ 2.4	△ 10.0
70～74歳	9,205	3,381	5,824	11,497	4,459	7,038	24.9	31.9	20.8
75～79歳	9,212	2,626	6,586	8,782	2,584	6,198	△ 4.7	△ 1.6	△ 5.9
80～84歳	8,724	2,112	6,612	7,560	1,694	5,866	△ 13.3	△ 19.8	△ 11.3
85歳以上	6,016	1,192	4,824	8,666	1,781	6,885	44.0	49.4	42.7

表13 夫婦とも65歳以上の高齢夫婦世帯数－平成27年・令和2年

(単位：世帯，%)

		平成27年				令和2年				増減率			
		総数	65～74歳	75～84歳	85歳以上	総数	65～74歳	75～84歳	85歳以上	総数	65～74歳	75～84歳	85歳以上
妻の年齢	夫の年齢	総数	65～74歳	75～84歳	85歳以上	総数	65～74歳	75～84歳	85歳以上	総数	65～74歳	75～84歳	85歳以上
	総数	36,053	23,439	11,213	1,401	42,973	26,609	14,053	2,311	19.2	13.5	25.3	65.0
	65～74歳	17,725	17,048	656	21	20,076	19,233	817	26	13.3	12.8	24.5	23.8
	75～84歳	14,790	6,311	8,287	192	17,829	7,266	10,284	279	20.5	15.1	24.1	45.3
	85歳以上	3,538	80	2,270	1,188	5,068	110	2,952	2,006	43.2	37.5	30.0	68.9

6 住居の状況

(1) 住宅の所有関係

- ▶ 「持ち家」の割合は 1.0 ポイント上昇し, 49.0%
- ▶ 「民営の借家」の割合は 1.3 ポイント低下し, 42.1%

住宅に住む一般世帯数 51 万 9,554 世帯を住宅の所有関係別にみると, 「持ち家」は 25 万 4,513 世帯 (住宅に住む一般世帯の 49.0%) と最も多く, 次いで「民営の借家」が 21 万 8,844 世帯 (同 42.1%) で, この 2 つで住宅に住む一般世帯の 91.1% を占めています。

平成 27 年と比べると, 「持ち家」は 1 万 8,544 世帯 (7.9%) の増加, 総数に占める割合は 1.0 ポイント上昇しました。一方, 「民営の借家」は 5,213 世帯 (2.4%) 増加したものの, 総数に占める割合は 1.3 ポイント低下し, 42.1% となりました。(図 13, 表 14)

図 13 住宅に住む一般世帯数の割合 [所有関係別] — 令和 2 年

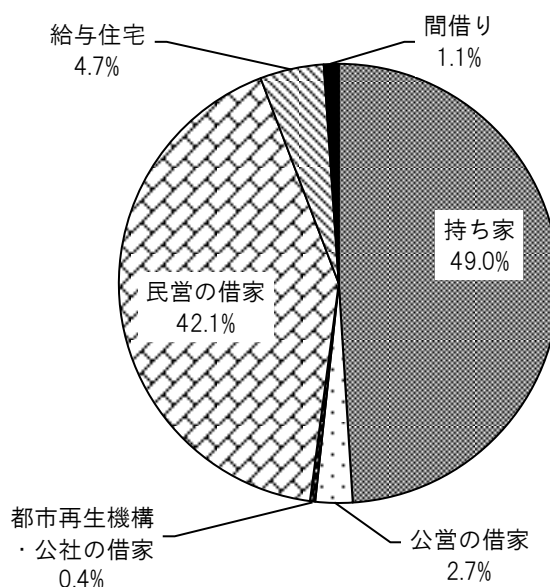


表 14 住宅に住む一般世帯数の推移 [所有関係別] — 平成 22 年～令和 2 年

年 別	総 数	持 ち 家	公 営 の 借 家	都市再生機構 ・ 公社の借家	民 営 の 借 家	給 与 住 宅	間 借 り
実 数 (世帯)							
平成 22 年	460,105	224,767	12,288	4,379	194,644	19,480	4,547
平成 27 年	491,762	235,969	14,779	4,182	213,631	20,640	2,561
令和 2 年	519,554	254,513	14,167	1,981	218,844	24,383	5,666
構 成 比 (%)							
平成 22 年	100.0	48.9	2.7	1.0	42.3	4.2	1.0
平成 27 年	100.0	48.0	3.0	0.9	43.4	4.2	0.5
令和 2 年	100.0	49.0	2.7	0.4	42.1	4.7	1.1

(2) 住宅の建て方

- ▶ 「共同住宅」が最も多く、住宅に住む一般世帯の60.6%を占める
- ▶ 「一戸建て」は世帯数は増加したものの、割合は38.5%に低下

住宅に住む一般世帯数を住宅の建て方別にみると、「共同住宅」が31万4,803世帯と最も多く、住宅に住む一般世帯の60.6%を占めています。次いで、「一戸建て」は19万9,899世帯（同38.5%）、「長屋建」が4,415世帯（同0.8%）などとなっています。

平成27年と比べて、「共同住宅」は1万8,270世帯（6.2%）増加し、総数に占める割合も0.3ポイント上昇しています。一方、「一戸建て」は9,948世帯（5.2%）の増加となったものの、総数に占める割合は0.1ポイント低下しています。（図14、表15）

図14 住宅に住む一般世帯数の割合〔建て方別〕—令和2年

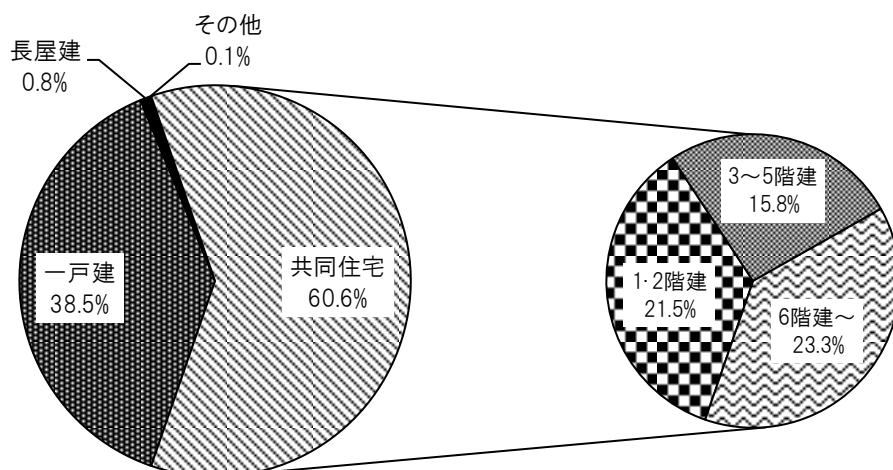


表15 住宅に住む一般世帯数の推移〔所有関係別〕—平成22年～令和2年

年 別	総 数	一 戸 建	長 屋 建	共 同 住 宅				そ の 他
				総 数	1・2階建	3～5階建	6階建～	
実 数 (世帯)								
平成22年	460,105	186,729	4,962	267,867	95,766	72,836	99,265	537
平成27年	491,762	189,951	4,572	296,533	107,956	78,278	110,299	706
令和2年	519,554	199,899	4,415	314,803	111,604	82,087	121,112	437
構 成 比 (%)								
平成22年	100.0	40.6	1.1	58.2	20.8	15.8	21.6	0.1
平成27年	100.0	38.6	0.9	60.3	22.0	15.9	22.4	0.1
令和2年	100.0	38.5	0.8	60.6	21.5	15.8	23.3	0.1

*平成22年の総数には、住宅の建て方「不詳」を含む。

*平成22年の構成比は、住宅の建て方「不詳」を含めて算出している。

7 区別の状況

- ▶ 人口・世帯数とも増加率が最も高いのは若林区
- ▶ 年少人口の割合が高いのは太白区，老年人口の割合が高いのは泉区
- ▶ 未婚率は男女とも青葉区が最も高く，有配偶率は男女とも泉区が最も高い
- ▶ 単身世帯の割合は青葉区が最も高く，高齢者単身者数の割合は宮城野区が最も高い
- ▶ 持ち家，一戸建ての割合は泉区が最も高く，借家，共同住宅の割合は宮城野区が最も高い

(1) 人口及び世帯数

人口は青葉区が31万1,590人で最も多く，次いで太白区23万4,758人，泉区21万2,149人，宮城野区19万6,732人，若林区14万1,475人の順となっています。平成27年と比べると，泉区以外で増加しており，増加率の高い順に若林区6.0%，太白区3.5%，宮城野区1.0%，青葉区0.5%となっています。泉区は2.1%減少し，政令市移行後初の減少となりました。

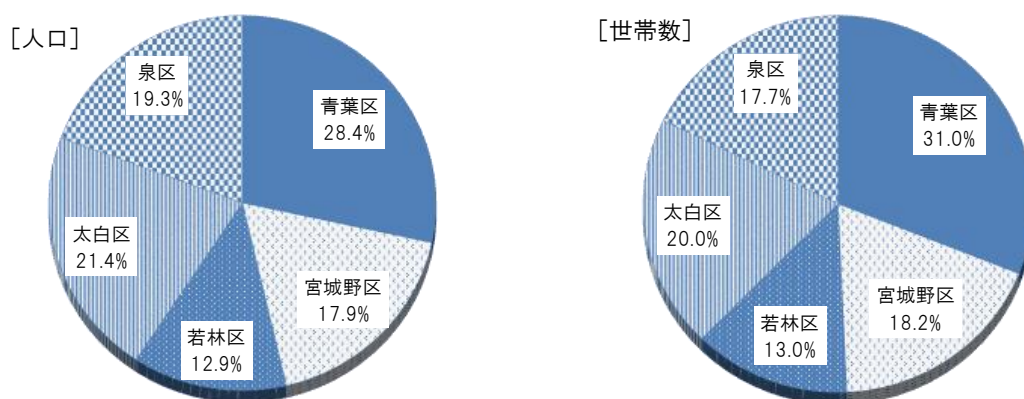
世帯数は青葉区が16万3,122世帯で最も多く，次いで太白区10万5,061世帯，宮城野区9万5,772世帯，泉区9万2,973世帯，若林区6万8,527世帯の順となっています。平成27年と比べると，全ての区で増加しており，増加率の高い順に若林区10.6%，太白区6.7%，宮城野区6.2%，泉区3.5%，青葉区2.9%となっています。

人口密度をみると，最も高いのは宮城野区で3,377.4人/㎢，最も低いのは太白区で1,027.9人/㎢となっています。人口集中地区の人口密度では，青葉区が7,795.1人/㎢で最も高く，最も低いのは宮城野区で5,377.3人/㎢となっています。（表16，図15）

表16 区別人口及び世帯数—平成27年・令和2年

区 別	人 口			世 帯 数	平 成 2 7 年 ～ 令 和 2 年				面 積 km ²	人口密度 人/㎢
	総 数	男	女		人 口		世 帯 数			
					増 加 数	増 加 率	増 加 数	増 加 率		
	人	人	人	世帯	人	%	世帯	%		
全 市	1,096,704	531,617	565,087	525,455	14,545	1.3	26,502	5.3	786.35	1,394.7
青 葉 区	311,590	150,932	160,658	163,122	1,407	0.5	4,560	2.9	302.24	1,030.9
宮 城 野 区	196,732	96,341	100,391	95,772	1,907	1.0	5,606	6.2	58.25	3,377.4
若 林 区	141,475	69,633	71,842	68,527	7,977	6.0	6,564	10.6	50.86	2,781.7
太 白 区	234,758	112,968	121,790	105,061	7,903	3.5	6,605	6.7	228.39	1,027.9
泉 区	212,149	101,743	110,406	92,973	△4,649	△2.1	3,167	3.5	146.61	1,447.0
(人口集中地区)										
全 市	1,004,465	487,329	517,136	491,508	2,583	0.3	20,654	4.4	150.20	6,687.5
青 葉 区	283,507	137,219	146,288	152,844	1,144	0.4	4,116	2.8	36.37	7,795.1
宮 城 野 区	186,808	91,435	95,373	92,107	1,305	0.7	5,211	6.0	34.74	5,377.3
若 林 区	136,294	67,159	69,135	66,737	8,693	6.8	6,613	11.0	19.18	7,106.0
太 白 区	218,060	105,037	113,023	98,796	4,998	2.3	5,341	5.7	30.50	7,149.5
泉 区	179,796	86,479	93,317	81,024	△13,557	△7.0	△627	△0.8	29.42	6,111.4

図 15 区別人口及び世帯数の構成比—令和 2 年



(2) 年齢別人口

年齢(3区分)別人口の割合を区別にみると、15歳未満の年少人口の割合は太白区が12.8%で最も高く、次いで宮城野区12.6%、若林区12.3%、泉区12.1%、青葉区11.3%の順となっています。

一方、65歳以上の老年人口の割合が最も高いのは泉区で28.0%、次いで太白区25.5%、青葉区23.5%、若林区22.4%、宮城野区21.4%の順となっています。

また、15～64歳の生産年齢人口の割合は宮城野区が66.0%で最も高く、次いで若林区65.2%、青葉区65.2%、太白区61.7%、泉区59.9%の順となっています。

次に、各区の平均年齢をみると、泉区が47.3歳で最も高く、以下、太白区45.9歳、青葉区45.0歳、若林区44.6歳、宮城野区44.0歳の順となっています。(表17、図16)

表 17 区別、年齢(3区分)別人口—令和 2 年

区	実 数 (人)					割 合 (%)			平均年齢 (歳)
	総数	0～14歳	15～64歳	65歳以上	年齢不詳	0～14歳	15～64歳	65歳以上	
青 葉 区	311,590	33,702	194,212	69,969	13,707	11.3	65.2	23.5	45.0
宮 城 野 区	196,732	24,017	125,693	40,773	6,249	12.6	66.0	21.4	44.0
若 林 区	141,475	16,895	89,414	30,767	4,399	12.3	65.2	22.4	44.6
太 白 区	234,758	29,344	141,716	58,657	5,041	12.8	61.7	25.5	45.9
泉 区	212,149	24,707	122,046	57,057	8,339	12.1	59.9	28.0	47.3

*年齢別割合は年齢不詳を除いて算出している。

図 16 区別、年齢(3区分)別人口割合—令和 2 年

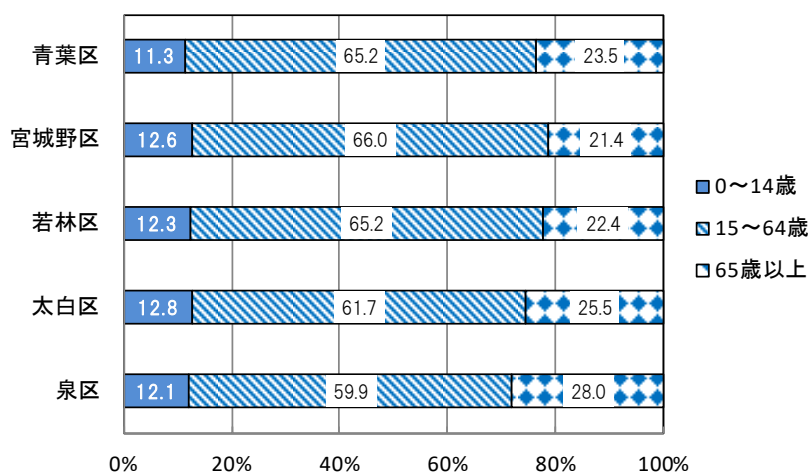
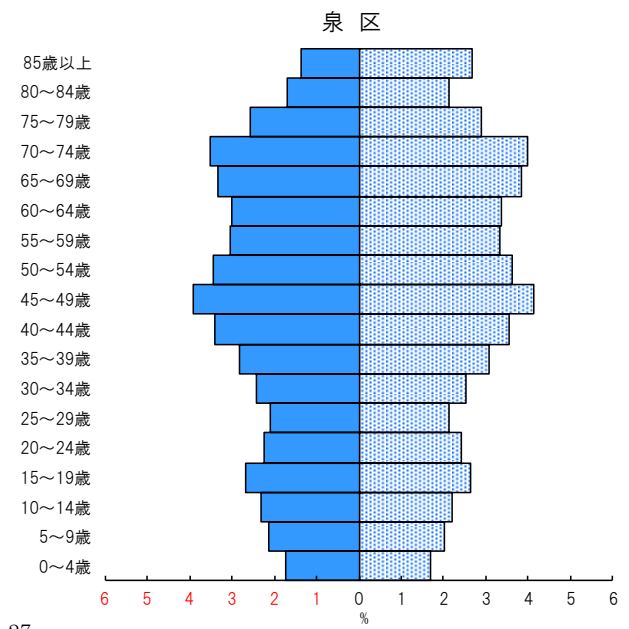
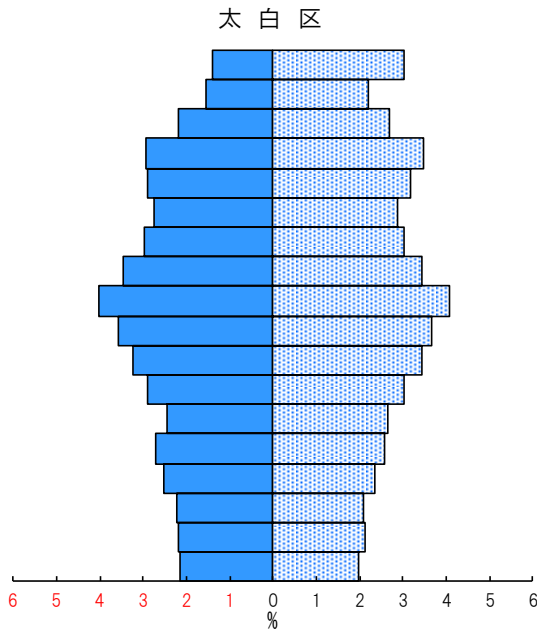
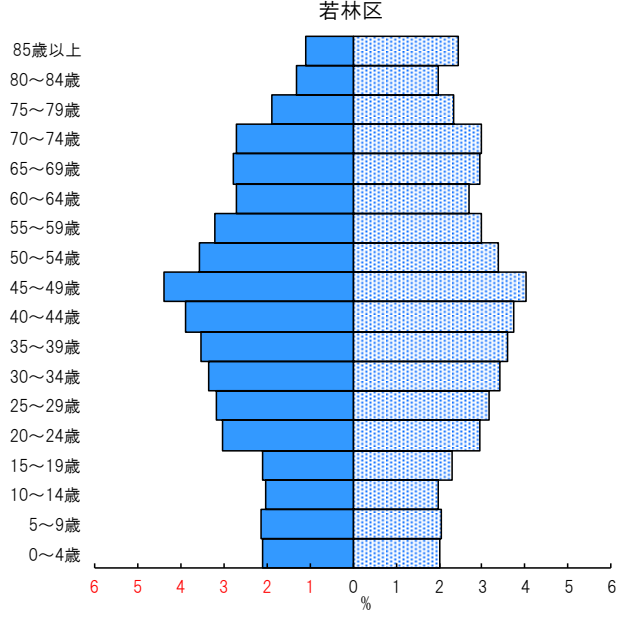
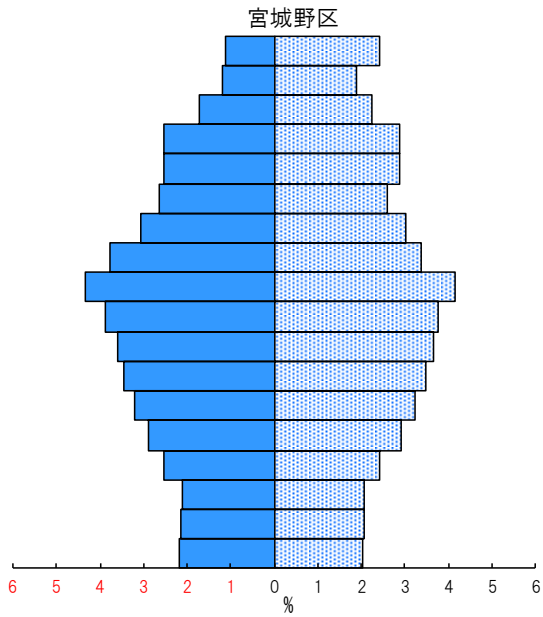
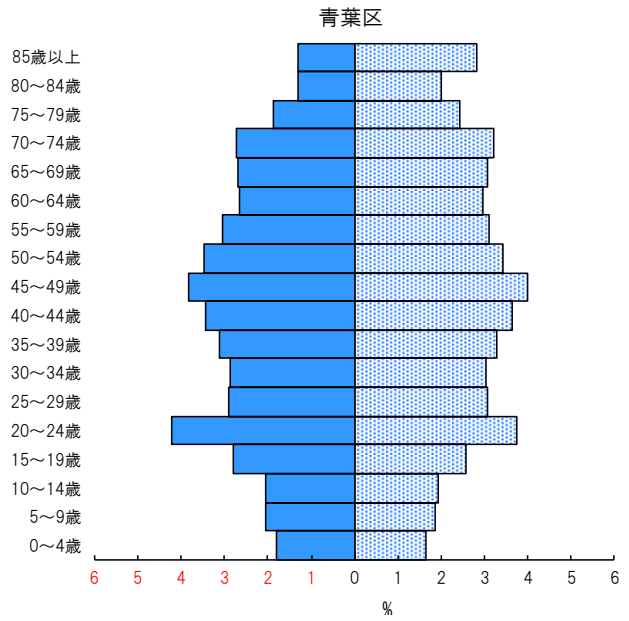
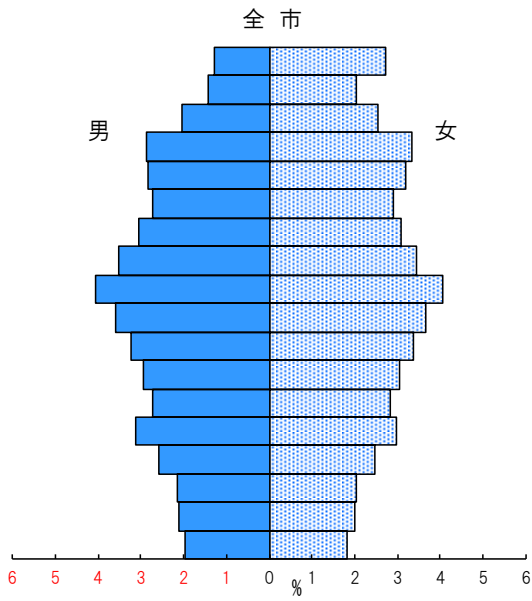


図17 区別人口ピラミッドー令和2年



(3) 配偶関係別人口

各区の配偶関係別割合をみると、未婚率は男女とも青葉区が最も高く、男性は36.9%、女性は31.6%となっています。一方、有配偶率は男女とも泉区が最も高く、男性は64.9%、女性は59.1%となっています。

25～39歳の5歳階級別の未婚率をみると、最も高いのは、男性では25～29歳で青葉区、30～34歳、35～39歳では泉区、女性では各階級で青葉区となっています。最も未婚率が低いのは、男性は各階級で太白区、女性は25～29歳では宮城野区、30～34歳、35～39歳では太白区となっています。(表18、図18-1、18-2)

表18 区、男女別15歳以上人口の配偶関係別割合—令和2年

(単位：%)

区	男							女						
	未婚	25～29歳	30～34歳	35～39歳	有配偶	死別	離別	未婚	25～29歳	30～34歳	35～39歳	有配偶	死別	離別
青葉区	36.9	77.8	47.5	34.0	57.1	2.5	3.5	31.6	71.5	42.2	30.1	51.0	10.9	6.5
宮城野区	34.4	66.4	43.1	31.7	58.9	2.4	4.2	28.1	59.3	34.7	25.5	53.6	10.6	7.7
若林区	33.7	69.4	43.9	31.8	59.3	2.4	4.5	28.4	62.4	36.8	25.2	54.4	10.9	6.3
太白区	31.5	66.2	40.3	29.1	62.0	2.8	3.6	25.0	59.4	33.5	23.5	56.5	12.2	6.3
泉区	29.2	74.1	48.5	34.0	64.9	2.8	3.1	24.0	65.2	40.0	26.2	59.1	11.6	5.4

図18-1 区、男女別15歳以上人口における未婚率及び有配偶率—令和2年

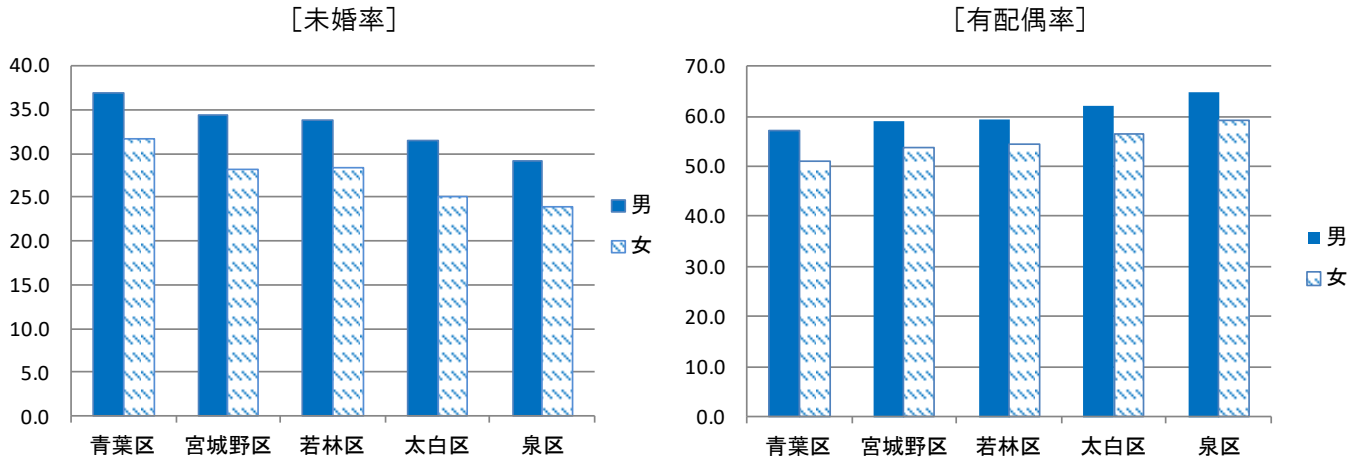
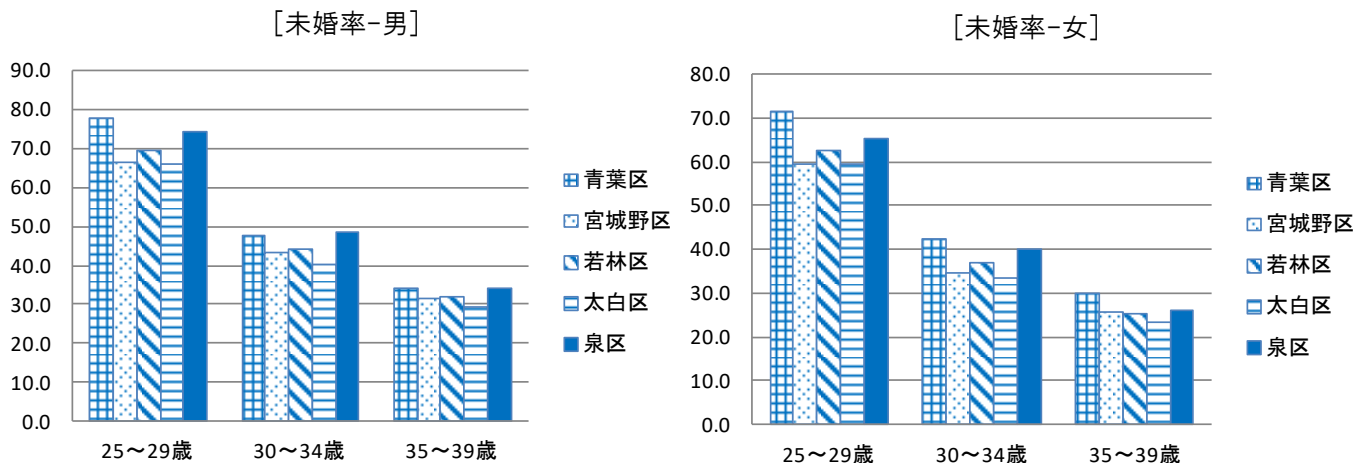


図18-2 区、男女、年齢階級(25～39歳5歳階級)別未婚率—令和2年



(4) 世帯・住居に関する主要項目比較

核家族世帯の割合が最も高いのは泉区で57.8%、最も低いのは青葉区で41.5%となっており、単身世帯の割合では、最も高い青葉区で53.3%、最も低い泉区で35.2%となっています。

高齢単身者の割合は宮城野区が21.6%で最も高く、泉区が13.7%で最も低くなっています。

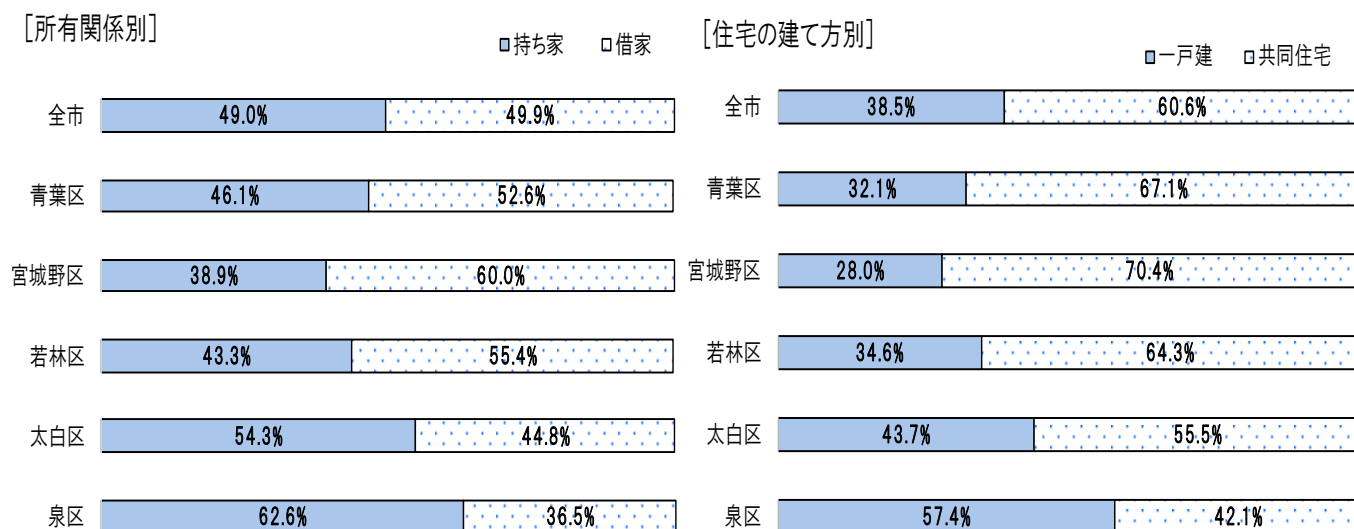
住居の所有の関係では、持ち家居住世帯の割合が最も高いのは泉区で62.6%、最も低いのは宮城野区で38.9%となっています。また、住居の建て方別をみると、一戸建ての割合が最も高いのは泉区で57.4%、最も低いのは宮城野区で28.0%となっています。(表19、図19)

表19 各区の世帯・住居に関する主要項目比較—令和2年

区別	(単位：%)						
	核家族世帯	単身世帯	高齢単身者	持ち家居住世帯	借家居住世帯	一戸建世帯	共同住宅
全市	48.8	45.0	18.5	49.0	49.9	38.5	60.6
青葉区	41.5	53.3	21.2	46.1	52.6	32.1	67.1
宮城野区	47.0	47.0	21.6	38.9	60.0	28.0	70.4
若林区	47.0	46.2	19.5	43.3	55.4	34.6	64.3
太白区	54.8	38.4	17.4	54.3	44.8	43.7	55.5
泉区	57.8	35.2	13.7	62.6	36.5	57.4	42.1

* 核家族世帯・単身世帯は、一般世帯数に対する割合。高齢単身者は65歳以上人口に対する割合。
持ち家居住世帯・借家居住世帯・一戸建世帯・共同住宅世帯割合は、住宅に住む一般世帯数に対する割合。

図19 住宅の状況（所有関係別及び建て方別割合）—令和2年

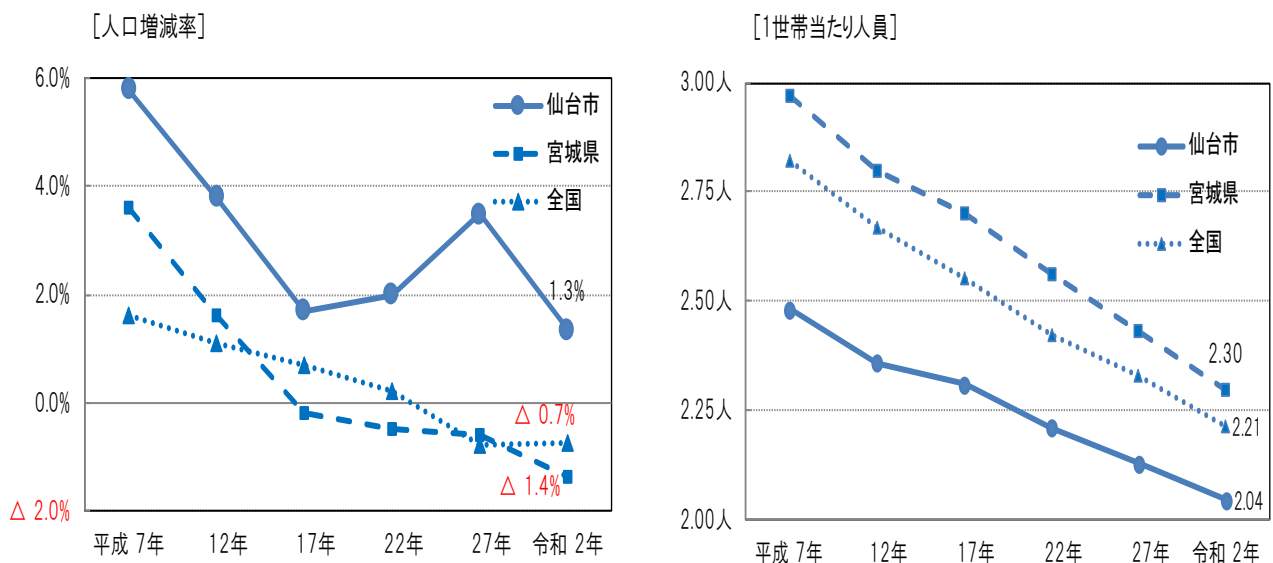


8 主要指標における宮城県及び全国との比較

令和2年国勢調査の仙台市の結果を宮城県及び全国と比較すると、次のような特徴がみられます。(図20、表20)

- (1) 人口の対前回増減率をみると、全国は $\Delta 0.7\%$ 、宮城県は $\Delta 1.4\%$ で、人口減少が続いていますが、仙台市の人口増減率は 1.3% となり、引き続き人口増加となっています。
- (2) 世帯数の対前回増減率は、全国の 4.5% 、宮城県の 4.0% を上回る 5.3% 増となっています。
- (3) 人口の年齢別構成をみると、仙台市は老年人口の割合(24.3%)が全国(28.7%)及び宮城県(28.3%)より低く、一方、年少人口の割合(12.2%)及び生産年齢人口の割合(63.6%)ではいずれも全国及び宮城県を上回っています。また、平均年齢は全国の 47.7 歳、宮城県の 47.5 歳を下回り、 45.4 歳となっています。
- (4) 外国人割合は、仙台市は 1.0% で、宮城県の 0.8% を上回っているものの、全国の 1.9% よりは下回っています。
- (5) 未婚率については、仙台市は男女共に全国及び宮城県を上回っています。年齢5歳階級別の $20\sim 39$ 歳をみると、女性は各階級で全国及び宮城県を上回っていますが、男性は $20\sim 24$ 歳では全国及び宮城県を上回っているものの、 25 歳以上では全国及び宮城県を下回っています。
- (6) 一般世帯における平均世帯人員は、仙台市は 2.04 人となっており、宮城県の 2.21 人、全国の 2.30 人を下回っています。一方、仙台市における単独世帯の割合は 45.1% で、全国(38.0%)、宮城県(36.9%)を上回っています。
- (7) 住宅に住む一般世帯のうち、持ち家を持つ世帯の割合をみると、全国は 61.4% 、宮城県は 59.6% で、仙台市はそれらを下回る 49.0% となっています。
- (8) 住宅に住む一般世帯を住宅の建て方別にみると、全国及び宮城県では「一戸建て」の割合が「共同住宅」の割合を上回っていますが、仙台市では「共同住宅」の割合が 60.6% と、「一戸建て」の割合の 38.5% を上回っています。

図20 人口増減率の推移及び一般世帯における平均世帯人員の推移
—仙台市、宮城県、全国(平成7年～令和2年)



9 主要指標における他の大都市との比較

全国の21大都市（政令指定都市及び東京都区部）における主要指標を比較します。（表20）

(1) 総人口をみると、13都市で前回調査より増加しており、対前回増加率が最も高いのは東京都区部で5.0%、次いで福岡市4.8%、さいたま市4.8%と続き、仙台市は1.3%で8番目となっています。

(2) 世帯数をみると、全ての都市で前回調査より増加しており、対前回増加率はさいたま市が9.2%と最も高く、仙台市は5.3%で11番目となっています。

(3) 人口の年齢別構成をみると、年少人口の割合が最も高いのは熊本市で13.8%、最も低いのは大阪市で11.0%となっており、仙台市は12.2%で11番目となっています。

また、老年人口の割合は北九州市が31.8%と最も高く、最も低いのは川崎市で20.2%、仙台市は24.3%で17番目となっています。

一方、生産年齢人口の割合は、東京都区部が67.2%と最も高く、次いで川崎市67.1%、福岡市64.5%、仙台市が63.6%と続き、最も低いのは北九州市で56.0%となっています。

(4) 総人口に占める外国人の割合は、最も高いのは大阪市で4.4%、最も低いのは新潟市で0.6%となっています。仙台市は1.0%で18番目となっています。

(5) 未婚率をみると、男性では東京都区部が36.5%と最も高く、神戸市が30.1%で最も低くなっています。仙台市は33.4%で10番目となっています。女性では東京都区部が31.2%と最も高く、仙台市は27.6%と5番目、最も低いのは浜松市で21.1%となっています。

(6) 一般世帯における平均世帯人員をみると、最も多いのは浜松市で2.41人、仙台市は2.04人で13番目、最も少ないのは大阪市で1.84人となっています。

また、一般世帯数における単独世帯の割合では、大阪市が53.6%と最も高く、仙台市は45.1%で7番目、最も低いのは浜松市で32.0%となっています。

(7) 一般世帯における高齢単身者について、65歳以上人口に占める割合をみると、最も高い大阪市で31.5%、仙台市は18.5%で16番目、最も低いのは浜松市で14.6%となっています。

(8) 住宅に住む一般世帯数を所有の関係でみると、持ち家の割合は新潟市が66.5%と最も高く、仙台市は49.0%で15番目、最も低いのは福岡市で36.3%となっています。

また、建て方別でみると、共同住宅の割合が最も高いのは福岡市で78.4%、仙台市は60.6%で9番目となっています。なお、21都市中、新潟市、静岡市、浜松市及び岡山市を除く17都市は、共同住宅の割合が一戸建ての割合を上回っています。

また、主要指標の大都市平均の値（割合）を100としたときの、仙台市の指数をグラフで表すと次のようになります。（主要指標のうち、一部のみ）（図21）

図21 主要指標の大都市平均と仙台市の比較（大都市平均=100）

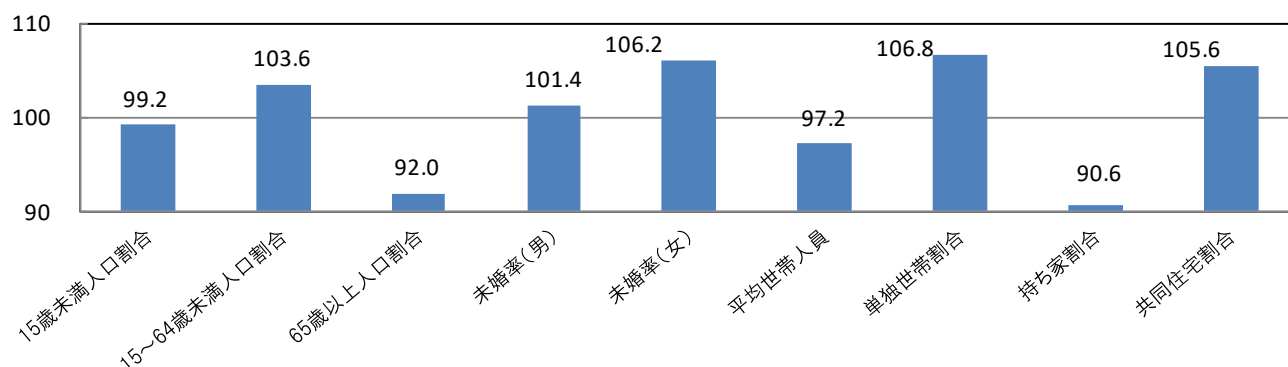


表20 主要指標の比較—21大都市，

主要指標		仙台市	札幌市	さいたま市	千葉市	東京都区部	横浜市	川崎市	相模原市	新潟市	静岡市		
総人口	(人)	1,096,704	1,973,395	1,324,025	974,951	9,733,276	3,777,491	1,538,262	725,493	789,275	693,389		
人口の対前回増減率	(%)	1.3	1.1	4.8	0.3	5.0	1.4	4.3	0.7	△ 2.6	△ 1.6		
世帯数	(世帯)	525,455	969,161	582,475	447,982	5,215,850	1,753,081	747,452	332,770	331,272	297,421		
世帯数の対前回増減率	(%)	5.3	5.1	9.2	7.2	8.6	6.5	8.0	6.9	3.0	4.0		
人口の年齢別構成	15歳未満	(%)	12.2	11.1	13.0	11.9	11.3	12.0	12.7	11.7	11.8	11.4	
	15～64歳	(%)	63.6	61.0	63.4	61.2	67.2	63.0	67.1	61.9	58.3	57.9	
	65歳以上	(%)	24.3	27.9	23.6	26.9	21.5	25.0	20.2	26.3	29.9	30.7	
平均年齢	(歳)	45.4	47.7	45.1	46.9	44.8	46.4	43.7	46.7	48.3	48.8		
外国人割合	(%)	1.0	0.6	1.7	2.4	4.1	2.3	2.5	1.8	0.6	1.4		
未婚率	男	(%)	33.4	31.2	33.5	33.2	36.5	33.9	35.5	33.8	31.8	32.3	
		女	(%)	27.6	26.7	25.3	24.9	31.2	25.6	27.4	24.8	23.5	22.8
	20～24歳	男	(%)	96.4	95.2	96.8	96.3	97.2	97.1	96.9	96.0	95.8	96.3
		女	(%)	94.6	92.9	94.3	94.0	95.2	95.1	94.6	93.4	93.5	93.2
	25～29歳	男	(%)	71.3	71.6	74.1	74.9	77.0	76.4	74.5	74.3	71.6	74.4
		女	(%)	64.3	66.0	64.7	64.3	69.5	66.9	64.6	64.5	63.3	62.5
	30～34歳	男	(%)	44.7	46.1	45.1	47.8	48.7	48.4	45.2	49.7	48.2	48.5
		女	(%)	37.7	41.0	33.6	35.6	40.9	36.3	34.2	35.9	37.5	35.4
	35～39歳	男	(%)	32.1	33.9	31.8	35.5	34.0	34.2	31.9	37.0	35.1	35.7
		女	(%)	26.4	28.7	21.3	23.8	27.6	23.2	22.2	24.2	25.0	23.6
一般世帯	平均世帯人員	(人)	2.04	1.98	2.24	2.14	1.85	2.13	2.03	2.14	2.32	2.28	
		単独世帯割合	(%)	45.1	43.6	36.3	39.4	53.5	40.1	45.7	39.9	35.1	35.0
	65歳以上人口に占める高齢単身者の割合	(%)	18.5	22.5	18.3	19.3	28.4	21.1	21.9	18.0	15.2	17.1	
うち住宅に住む	持ち家割合	(%)	49.0	48.6	60.8	59.9	42.9	58.6	48.2	60.2	66.5	62.5	
	一戸建割合	(%)	38.5	34.1	45.5	38.7	23.8	37.0	25.9	46.6	64.4	59.5	
	共同住宅割合	(%)	60.6	64.7	53.5	60.1	75.2	61.8	73.1	52.1	34.4	39.4	

*人口の年齢別構成及び未婚率は、年齢「不詳」を除いて算出

全国，宮城県（令和2年）

浜松市	名古屋市	京都市	大阪市	堺市	神戸市	岡山市	広島市	北九州市	福岡市	熊本市	全国	宮城県
790,718	2,332,176	1,463,723	2,752,412	826,161	1,525,152	724,691	1,200,754	939,029	1,612,392	738,865	126,146,099	2,301,996
△ 0.9	1.6	△ 0.8	2.3	△ 1.6	△ 0.8	0.7	0.6	△ 2.3	4.8	△ 0.3	△ 0.7	△ 1.4
320,749	1,122,103	729,524	1,469,718	366,079	734,920	327,620	555,123	436,245	831,124	326,920	55,830,154	982,523
3.7	6.0	3.4	8.5	4.5	4.2	5.9	4.4	2.3	8.7	3.6	4.5	4.0
13.0	12.4	11.0	11.0	12.7	11.9	13.2	13.6	12.2	13.4	13.8	12.1	11.9
58.7	62.3	60.7	63.5	58.5	58.8	60.4	60.6	56.0	64.5	59.7	59.2	59.7
28.3	25.4	28.3	25.5	28.9	29.2	26.4	25.8	31.8	22.1	26.6	28.7	28.3
47.4	46.1	47.4	46.4	47.4	48.0	46.0	45.9	48.9	43.9	46.1	47.7	47.5
2.8	3.0	2.7	4.4	1.5	2.2	1.6	1.5	1.2	2.0	0.7	1.9	0.8
32.2	34.0	35.4	35.7	30.7	30.1	31.9	30.3	30.7	33.7	31.0	31.9	32.2
21.1	25.8	30.0	30.2	24.1	25.5	25.0	24.3	23.6	30.9	26.0	23.4	23.5
95.4	96.0	97.1	94.7	94.9	95.8	94.7	94.6	93.6	95.7	94.7	95.2	95.5
91.5	93.1	95.3	91.7	92.2	94.2	91.9	91.9	90.1	93.8	91.9	92.3	92.7
73.3	73.0	76.4	71.9	68.6	72.5	68.7	68.3	67.5	70.8	67.4	72.9	72.1
58.2	62.4	70.0	66.0	60.8	66.4	59.4	59.3	58.4	67.8	61.6	62.4	62.3
46.8	45.9	50.7	46.7	43.0	44.7	42.7	42.0	44.0	43.5	42.2	47.4	48.0
30.8	33.9	43.6	41.0	34.2	38.4	34.6	33.6	34.7	41.3	34.8	35.2	36.2
33.6	33.4	36.7	34.4	30.8	31.9	31.7	30.2	32.9	30.9	30.3	34.5	35.4
19.5	22.8	31.1	29.7	23.2	25.9	23.8	22.1	24.9	28.8	24.5	23.6	24.9
2.41	2.04	1.97	1.84	2.21	2.04	2.16	2.12	2.09	1.90	2.20	2.21	2.30
32.0	45.1	48.1	53.6	37.0	43.4	41.1	40.5	40.9	52.0	39.2	38.0	36.9
14.6	23.0	24.1	31.5	22.1	24.3	19.0	21.1	22.8	24.1	19.2	19.0	15.2
64.8	47.9	54.0	41.6	59.5	57.9	55.8	53.5	55.0	36.3	51.6	61.4	59.6
63.2	33.2	45.5	23.6	46.2	35.5	53.5	41.4	43.6	20.8	46.5	53.8	55.9
34.8	65.4	53.3	73.9	51.4	63.1	44.9	57.1	54.8	78.4	52.5	44.6	42.7

